空想の空とぶ機械達（2002）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　Color
時間　6分

【解説】
　スタジオジブリが制作した約6分の短編アニメで、三鷹の森ジブリ美術館において公開された。後に、日本航空の飛行機内においても上映が行われている。大昔から人は空飛ぶことを夢見て、それを実現させるために必要な乗り物をあれこれと想像してきた。映画『天空の城ラピュタ』に登場する〝フラッパター〟などは無論その一例であるが、時を遡れば19世紀の科学小説において、現在の目からすると奇異に映る様々な空飛ぶ機械が生みだされていた。それらを、ブタの姿に扮した映画監督・宮崎駿が独自の解釈も交えて紹介していく。飛行機好きで知られる宮崎が、本作では企画・脚本・監督だけでなくナレーション担当として声の出演までこなしている。

【クレジット】

監督	宮崎駿	
プロデューサー	鈴木敏夫	
原作	宮崎駿	
脚本	宮崎駿	
作画監督	米林宏昌	
デジタル作画監督	片邉満則	
美術監督	武重洋二	
音楽	久石譲	Joe Hisaishi
ナレーション	宮崎駿	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.